

物流不動産Bizを支える

物流不動産Biz(ビジネス)のブランディングを推進するのがイソーコグループのイソーコドットコム。
日本最大級の物流不動産ポータルサイト「イソーコ.com」の新たな運営会社(ASP会社)の発足などを進める。
一昨年2月には大谷徹一会長が「これからは倉庫で儲ける!! 物流不動産ビジネスのすすめ」(日刊工業新聞社刊)を出版し、全国の書店に並んだ。

日本最大級の物流不動産ポータルサイト「イソーコ.com」

登録されている物流不動産の情報は3万9千件(2014年2月末現在)となり、物流不動産業界では日本最大級に成長した。2008年末は9千件だったため、この4年間で4倍以上の物件登録数になった。
YahooやGoogleなどの検索エンジンで「倉庫」で検索して、上位に表示されるため、利用者も増えている。
物流不動産を探すときに、まずは検索すると便利なサイトだ。 イソーコ.com (http://www.e-sohko.com)

The screenshot shows the e-SOHKO website interface. At the top, there's a navigation bar with categories like '物件検索', '営業方針', and 'サービス'. The main content area displays search results for '倉庫' (warehouse) properties. A table lists several properties with details like location, size, and price. On the left, there's a sidebar with a search filter and a '会員登録' (member registration) section.

従来のイソーコのシステムのみ
保守運用にも力を入れていく

倉庫のIT化を総合で提案

倉庫、事務所の状態をリアルタイムに分かるWebカメラの販売と運用パッケージは好評だ。
Webカメラは、セキュリティのほか、社員の管理、評価にも活用できる。また、取り付けた後の運用にまで組み込んでいる。
誰が見て、どのように管理を行っていくのか?
人事評価につなげていくのか?
そのルールも決めていく。
早崎社長は「ただカメラを取り付ける工事だけではできません。そこまでのサポートがあって、はじめて生産化した提案ができる」とする。

Webカメラは社員の後援評価に役立ち、管理者からの評価は高い



倉庫が輝くリノベーション

イソーコグループで力を入れているのが、倉庫リノベーション事業だ。
メガ倉庫の大規模供給による玉突き現象により、空きが発生した中小規模の倉庫に対し、物流以外の用途としての活用を提案する。天井高の高さ、柱間隔の広さといった倉庫の良さを活かし、オフィスや会員制ショールーム、撮影スタジオなど多様な活用が可能になる。
オフィスビルにない大空間は、創造的な空間を生み出し、倉庫に物流用途以外の顧客を輩出するのに成功している。



第2弾 新書発行!

「こうすれば倉庫で儲かる!! 物流不動産ビジネスの実務」

一昨年2月に出版して2年が経過。その間、増刷を重ね4刷まで出版された。物流企業向けの内容だったが、金融や不動産、建設など、物流不動産Bizにかかわる多くの人が購入し定評された。内容は、これから物流不動産Bizを始めるための入門書となっている。本の発行とともに物流不動産Bizの半年間の長期研修プログラムも開始し、本で書かれているとおり、1社につき20社の若手2人を受け入れた。また、2014年3月20日には、第2弾の本として「こうすれば倉庫で儲かる!! 物流不動産ビジネスの実務」が出版された。

The book cover features the title 'こうすれば 倉庫で儲かる!!' at the top, followed by '物流不動産ビジネスの実務' in large bold characters. Below the title is the author's name '大谷徹一' and a small illustration of a warehouse and a truck. At the bottom, it says '営業ノウハウを公開!' and '情報収集、収支管理、契約、心構え、事業計画、ビジネスモデリングまでがこの1冊でわかわ!!'.